

厚生労働行政推進調査事業費補助金 健康安全確保総合研究分野 地域医療基盤開発推進研究  
(分担) 研究報告書

かかりつけ医機能報告のための医師の研修項目の詳細な整理等を行う研究

研究代表者 長谷川 仁志 秋田大学大学院医学系研究科医学教育学講座 教授

**研究要旨**

超高齢社会を迎えたわが国において、高齢者の医療・ケアの重要性はますます高まっている。高齢者は、主要な疾患に加えて多様な併存疾患を抱えていることが多く、長期的な経過の中で多様な症状を訴えることが日常的である。そのため、かかりつけ医機能を担う医師が連携しながら地域を面で支えるとともに、各地域や医師個人のニーズに応じて、頻度の高い疾患に対する一般的な診断と対応力の向上を図ることが重要である。

本分担研究班では、かかりつけ医機能に関する研修項目のうち、幅広い疾患への対応を視野に、患者調査に基づく推計外来患者数が多い 40 疾患を主な対象とした初期診断・対応等に係る内容を検討し、整理した。

この整理に基づき、今後、研修実施団体が教材を整備することにより、地域や医師個々のニーズに応じた柔軟な学習が可能となり、実践的な学習ツールとしての活用が期待される。

研究分担者

大橋 博樹 多摩ファミリークリニック 院長

(五十音順)

研究協力者

海老澤 由香 北茨城市民病院附属家庭医療センター 医師

小野 有理 筑波大学医学医療系地域総合診療医学 助教

木村 紀志 筑波大学医学医療系地域総合診療医学 助教

土田 知也 調布東山病院 医師

橋本 恵太郎 筑波大学医学医療系地域医療教育学 助教

前野 哲博 筑波大学医学医療系地域医療教育学 教授

**A. 研究目的**

超高齢社会を迎えたわが国において、高齢者の医療・ケアはますます重要となる。高齢者は、主要な疾患のみならず背景に様々な疾患を持っていることが多く、長期的な経過では様々な症状を訴えることが日常的である。したがって、かかりつけ医機能を担う医師が連携して地域を面で支えていくとともに、各地域や個々の医師のニーズに沿って、頻度の高い疾患に対して、一般的な診断及び対応能力を向上していくことが必要となる。本分担研究班（第1班）では、幅広い疾患への対応として、表に示す患者調査による推計外来患者数が多い 40 疾患（参考資料 1）を主な対象とした初期診断・対応等に係る具体的な研修項目を検討し、整理することを目的とした。併せて、E-ラーニング等の学習教材の学習項目についても検討し、参考資料として実際の疾患ごとの E-ラーニング教材等作成ガイド

を整理することを目的とした。

**B. 研究方法**

本作業研究班（第1班）のテーマである「頻度の高い疾患・症状への対応」および「初期救急の実施・協力」について、自らの専門性を広げたいと希望する医師が共通して学ぶことが望ましい研修項目等について検討した。主な 40 疾患を対象とした具体的な研修項目については、本研究の目的に沿った内容の統一性を確保するため、以下に示す項目を設定した。あわせて、学習教材や研修が、専門的に偏りすぎることがなく、分科会内で議論されたかかりつけ医機能を担う医師のニーズに沿った内容となるように留意しつつ検討を行った。

(倫理的配慮)  
特になし

## C. 研究結果

「頻度の高い 40 疾患」および「初期救急の実施・協力」について、自らの専門性を広げたいと希望する医師が共通して学ぶことが望ましい研修項目について、以下①から⑤のとおり整理した。

なお、これらは各研修実施団体が実施する各テーマに係る研修において、全ての研修項目が網羅されていなければならないという趣旨ではないことに留意が必要である。

さらに、これらの項目に基づいて疾患ごとの E-ラーニング教材等作成ガイドを別に取りまとめた（参考資料 2）。

### ①総論・イントロダクション

- ・疾患の概念や特徴のポイントを学ぶ

### ②初診時の対応

- ・鑑別診断に必要な病歴と身体所見の聴取、記載について学ぶ
- ・実施すべき検査および検査結果の解釈、専門医療機関や専門の医師との連携に必要な検査等について学ぶ
- ・病歴、身体所見、検査所見で得られた範囲において当該疾患を診断するためのポイントについて学ぶ
- ・上記診断を行う際に、想起すべき鑑別診断と鑑別のポイント、日常診療における注意点や重要なピットフォールについて学ぶ

### ③マネージメント

- ・医療連携のために知っておくべき薬物療法の基本を学ぶ
- ・医療連携のために知っておくべき治療内容の基本を学ぶ
- ・当該疾患に係る生活指導について学ぶ
- ・継続的に診療を行う範囲や診療上の注意点、専門医療機関や専門の医師との連携のポイントについて学ぶ

### ④緊急時の対応

- ・緊急対応が必要な病態に関する病歴・身体所見・検査のポイント、ならびに緊急度の判断基準を学ぶ
- ・救急または専門診療科の受診までの間の初期対応について学ぶ

### ⑤専門医療機関および専門の医師への紹介

- ・紹介のタイミングや判断のポイントについて

て学ぶ

- ・紹介にあたって提供すべき情報、紹介先の選び方などについて学ぶ

※あわせて、同研修に係る e ラーニング教材等を制作するにあたっての参考となることを目的として、別に教材作成ガイドを示すこととした。

○主要疾患への初期診断・対応教材について  
超高齢社会の日本において地域医療を面で支えるというコンセプトのもと、1 項目あたり 60 分以内を目安とした動画教材を想定している。本教材は、医療連携の充実に目的に、かかりつけ医機能を担う医師が専門分野を問わず、地域のニーズに応じて主要疾患への対応力を高め、医療機関間の連携を強化し、患者にとって最適な治療環境を構築できるよう、時間や場所を問わず学べる e ラーニング教材として設計されている。

## D. 考察

地域において必要とされる頻度の高い約 40 疾患を対象に、かかりつけ医機能を担う医師にとって初期診断および対応能力の向上に資する具体的な研修項目及び学習教材に係るシラバスを整理した。動画教材（E-ラーニング）としての活用を前提とし、いつでもどこでも学習可能な柔軟な構成とした点は、実践的かつ有用であり、今後の広範な普及が期待される。地域の多様な医療ニーズに対応するためには、医師が自らの専門性を深めるとともに、専門領域を越えて個々のニーズに合わせて継続的に学習できる環境の整備が重要であり、本教材はそのための有効な支援手段の一つと考えられる。

## E. 結論

本研究により、頻度の高い約 40 疾患への初期対応に関して、かかりつけ医機能を担う医師が地域の実情に応じて自らの専門性を広げる学習を行う場合の具体的な研修項目を提示した。時と場所を問わず学習可能な動画教材（E-ラーニング）は、医師の多様なニーズに対応するための有効な手段であり、地域医療体制の質的向上およびかかりつけ医機能の充実に資するものと考えられる。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

1. 論文発表  
なし

2. 学会発表  
なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

## 文献

1) 今日の臨床サポート

<https://www.elsevier.com/ja->

[\\_jp/products/todays-clinical-support](https://www.elsevier.com/ja-products/todays-clinical-support)